

## 2020年度 大学入試改革のまとめ

### 1. 名称が変わります。

㊦ 名称	⇒	㊧名称
AO入試		総合型選抜
一般推薦・指定校推薦入試		学校推薦型選抜（公募・指定校）
大学入試センター試験		大学入学共通テスト
一般入試		一般選抜

### 2. 内容が変わります。

#### (1) 総合型選抜（9月～）

- ①調査書等の出願書類だけでなく、(1) 各大学が実施する評価方法等（例：小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績等）、もしくは(2)「大学入学共通テスト」の少なくともいずれか一つの活用を必須化することとしています。
- ②志願者本人の記載する資料（例：活動報告書、入学希望理由書、学修計画書等）を積極的に活用することとしています。

#### (2) 学校推薦型選抜（10月～）

- ①調査書等の出願書類だけでなく、(1) 各大学が実施する評価方法等（例：小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績等）もしくは(2)「大学入学共通テスト」の少なくともいずれか一つによる評価を必須化することとします。
- ②推薦書において(1) 本人の学習歴や活動歴を踏まえた「学力の3要素」に関する評価を記載すること、及び(2)大学が選抜でこれらを活用することのどちらも必須化することとします。

#### (3) 大学入学共通テスト（1月）

- ①知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視する。  
**※実施大綱に見直しあり。裏面参照。**

#### (4) 一般選抜（1月～）

- ①筆記試験に加え、調査書や志願者本人が記載する資料等（例：その他、エッセイ、面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション、各種大会や顕彰等の記録、総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的な学習の成果等に関する資料や面談など。）の積極的な活用を努めることとしています。

※用語「学力の3要素」→①基礎的な知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性・多様性・協働性

## 令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施について

### 1. 当初の計画より大きな見直しのあったところ

- (1) 成績提供システム運営大綱の廃止
- (2) 『国語』、「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」における記述式問題の導入の見送り
- (3) 『国語』における記述式問題の導入の見送りに伴う試験時間の変更【100分→80分】

教科	出題科目	試験時間
国語	『国語』	80分
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 『倫理、政治・経済』	
数学	「数学Ⅰ」、『数学Ⅰ・数学A』	70分
	「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、 『簿記・会計』、『情報関係基礎』	60分
理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、 「地学基礎」	2科目選択 60分
	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、 『中国語』、『韓国語』	『英語』 【リーディング】80分 【リスニング】60分 (うち解答時間 30分) 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 【筆記】80分

### 3. 大学入学共通テストに向けての心構え

- (1) 出題範囲や必要な知識は従来の「大学入試センター試験」と基本的に同じである。
- (2) 「知識・技能の有無を試す」から「知識を社会・実社会でいかに使えるかを試す」へと移行。
  - ① 「社会とのかかわり」や「探究活動」を意識した出題が増加
  - ② 「複数の資料」を読み取り、情報を統合・考察する力を重視
  - ③ 「正解が複数ある問題」や「前問の解答と連動する問題」など選択形式の多様化
- (3) 普段より、様々なジャンルの文章（新聞記事、エッセイなど）に触れるようにする。